

ネパールの暦

特定非営利活動法人 ミランクラブジャパン
理事長 マナンドール マダーブ ナラエン

2018年4月14日、この原稿を書き始めている今日はネパールのビクラム暦2075年1月1日に当たる。現在のネパールの公式な暦で西暦1904年より採用されている。

ビクラム暦はインドの影響を受けた暦で太陰太陽暦となる。104年間続いたラナ時代の途中から採用されている。以前は西暦875年からネパール暦を使っていた。ネパール暦は10月末から11月初めが新年になる。国の名前が暦になっているのは世界的に見てもネパールだけで、またこれに戻そうという動きがある。その場合、西暦の新年に合わせ始まるようにするという。

新年から始まるものとしては入学や進級がある。日本の元旦に当たる今日一日だけが祭日になり、4月16日は母の日なので、その2日後ほどで新学期が始まる。

新年は朝早く起き、身を清め、寺に詣でる。日の出を見に行ったりもする。

一年前の新年からネパールでは、特に街中でのむやみなクラクションを禁止した。罰金は500~1,500ルピーとなっている。

ビクラム暦は12か月あり一か月は29日から32日の中で決められる。国の天文学者(占星術師)がその年毎に月の長さを決め、祭日を決める。新年の始まりは西洋暦に直すといつも同じ日ではない。日本の和暦のように西洋暦に合わせたものではないので、たびたび年齢の数え間違いや書類への記載ミスが生じたりする。そのため最近では変換するためのツールができています。次を参考にされると簡単に割り出せる。

<http://www.rajan.com/calendar/>

以前は多くの祭日があった。特にこの10年、王制廃止後、政府は次から次と祭

日を増やしていった。新しい政権になり、今年から祭日は次の14日間に落ち着いた。

- 4月14日 ナヤン バルシャ (新年)
- 4月30日 ブッダ ジャヤンティ (釈迦生誕祭)
- 5月1日 スラマ ディバス (メーデー)
- 9月19日 サンビダン ディバス (憲法記念日)
- 10月16日 フルパティ (花を供える日)
- 10月17日 マハ アスタミ (8日目)
- 10月18日 マハ ナヴァミ (9日目)
- 10月19日 ビジャヤ ダシャミ (10日目の勝利の日)
- 11月7日 ラクシュミー プジャ (吉祥天の祭り)
- 11月8日 マア プジャ (ネパール暦新年)
- 11月9日 バイ プジャ (弟の日)
- 3月4日 マハ シヴァラットリ (シヴァ神の夜)
- 3月8日 ナリ ディバス (女性の日)
- 3月20日 ファグ プルニマ (ホーリー、色掛け祭り)

上記10月16日から19日まではネパール最大の祭りダサインであり、11月5日から9日までのティハール期間中の3日間が祭日となる。

ネパールでの高等学校全国統一試験は結果が5月から6月の間の発表なので、進学等は新年から一か月以上遅れる。その間、進学準備や家事手伝い、アルバイトと自由な時間を使える。全国統一試験ではミランクラブ里子は30名、ダルマスタリ学校から20名が受験した。結果発表があり次第、報告する。